

| 年 | 将軍 | 広島藩主 | 事項 | 「東都名所霞ヶ関名所」にまとめられた浮世絵の刊行時期 |
|----------------------|---|--|---|--|
| 明和期 (1764年～1772年) | 家治 | 重晟 | 多色刷りの技術が発達し、錦絵の制作が始まる。 | |
| 天明6年(1786年) | | | 歌川国貞(3代豊国)生まれる。 | |
| 寛政2年(1790年) | 家斉 | 重賢 | 寛政の改革の一環として、出版統制が行われる。以後、出版物は事前の検閲が必須となる。 | |
| 寛政9年(1797年) | | | 歌川広重、江戸・八代洲河岸定火消同心・安藤源右衛門の長男として生まれる。 | |
| | | | 11月、歌川国芳生まれる。 | |
| 文化元年(1804年) | | | 「絵本太閤記」に絶版命令が下る。この本に題材を求めて浮世絵を制作していた喜多川歌麿、歌川豊国(初代)、が摘発され、手鎖50日の刑に服する。 | |
| 文化6年(1809年) | | | 歌川広重、相次いで両親を失い、定火消同心職をつぐ。 | |
| 文化8年(1811年) | | | 歌川広重、浮世絵師を志す。歌川豊国(初代)への入門を断られ、同門の歌川豊広に入門する。 | |
| | | | 歌川国芳、歌川豊国(初代)の門下になる。 | |
| 文化14年(1817年) | | | 浅野斉肅生まれる。 | |
| | | | 末姫(のちの斉肅正室)生まれる。 | |
| 文政6年(1823年) | | | 歌川広重、火消同心を隠退する。 | |
| 文政8年(1825年) | 1月、歌川豊国、57歳で死去。 2月、異国船打ち払い令が発せられる。 3月、歌川豊国養子一竜斎豊重が、豊国(2代)となる。 | | | |
| 文政10年(1827年) | この頃、歌川国芳の「通俗水滸伝豪傑一百八人之一個」が人気となる。 | | | |
| 天保2年(1831年) | 家斉 | 歌川広重、「東都名所」(全10枚。俗に「一幽斎がき東都名所」とよばれる)を刊行する。 | 天保2～3年頃 5「東都名所 かすみ関」 (歌川国芳/画) |  |
| 天保4年(1833年) | 家斉 | 11月、浅野斉肅に将軍家・末姫がお輿入れする。 歌川広重、天保4年～5年にかけて「東海道五十三次」(通称保栄堂版)を刊行する。風景画家としての地位を確立。 天保の大飢饉始まる。 | 天保3年～天保5年 1「江都名所 かす美か世紀」 (歌川広重/画) 10「東都名所 霞ヶ関全図」 (歌川広重/画) |   |
| 天保5年(1834年) | 家斉 | 水野忠邦、老中となる。 | 天保3年以降 6「東都名所 霞か関之図」 |  |
| 天保6年(1835年) | 家斉 | 浅野家家祖・長政夫妻を祭神とする二葉山御社(饒津神社)を造営する。 | 天保6年～天保9年 8「東都名所 霞か関夕景」 (歌川広重/画) |  |
| 天保7年(1836年) | 家斉 | 浅野慶熾、生まれる。 利姫(のちの慶熾正室)、生まれる。 | | |

| | | | | | |
|--------------|--|------------------------------------|---|---|--|
| 天保12年（1841年） | 家慶 | 天保の改革始まる（～天保14年）。 | 天保11年頃～天保13年 2「江戸名所 霞か関之景」 （歌川広重／画） |  | |
| 天保13年（1842年） | | 天保の改革により、出版物の検閲制度が強化される。 | | | |
| 天保15年（1844年） | | 歌川国貞、歌川豊国（2代）を自称し、同門に認めさせる。 | 天保14年～弘化4年 3「東都名所 霞かせきの図」 （歌川広重／画） |  | |
| 弘化3年（1846年） | | 歌川国貞、隠居する。 | | | |
| 嘉永2年（1849年） | | 葛飾北斎、90歳で死去。 | 弘化4年～嘉永5年 7「江戸名所 霞か関」 （歌川広重／画） |  | |
| 嘉永6年（1853年） | | アメリカ使節ペリー、浦賀に来航 | | | |
| 安政元年（1854年） | 家定 | 日米和親条約を締結する。 | | | |
| 安政5年（1858年） | | 歌川国芳、この頃から中風症を患う。 | 安政4年 4「名所江戸百景 霞か世紀」 （歌川広重／画） |  | |
| | | 浅野齐肃、藩主を退隠する。 浅野慶熾、第10代広島藩主となる。 | | | |
| | | 慶熾 | 6月、日米修好通商条約を締結する。 | | 安政4年～安政5年 9「江戸名所百人美女 霞ヶ関」 （歌川国貞（3代豊国）／画） |
| | 9月、歌川広重、62歳でコレラのため死去。歌川国貞（3代豊国）の「広重死絵」刊行される。 | | | | |
| | | 9月、浅野慶熾、23歳で死去。 | | | |
| 安政7年（1860年） | 家茂 | 桜田門外の変が起きる。 | | | |
| 文久元年（1861年） | | 3月、歌川国芳、65歳で死去。 | | | |
| 元治元年（1864年） | | 第一次長州征伐。 | | | |
| | | 12月、歌川国貞（3代豊国）、79歳で死去。 | | | |
| 慶応元年（1865年） | | 第二次長州征伐（～慶応二年）。 | | | |
| 慶応2年（1866年） | | 薩長同盟が締結される。 | | | |
| 慶応3年（1867年） | | 慶喜 | | | 大政奉還・王政復古の大号令 |
| 慶応4年（1868年） | | | | | 浅野齐肃、52歳で死去。 |
| 明治5年（1872年） | | 末姫、55歳で死去。 | | | |